

平成26年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	16. インクルーシブ教育推進モデル事業
項	1. 教育総務費	中事業	
目	3. 教育研究指導費	担当所属	指導課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	第3章	「心豊かな人づくり、まちづくり」～教育の充実、 スポーツ活動の推進～	5年間計画額	29,696
臨時	補助	計画	0	0	0		基本施策7	心の教育が充実したまちにします	平成23年度	0
									平成24年度	0
									平成25年度	0
							施策1	心を育てる学習を充実します	平成26年度	14,848
								平成27年度	14,848	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	12,586	
本年度当初査定額	13,247	13,247

財源内訳	国庫支出金						その他	一般財源
本年度当初要求額	0						12,586	△12,586
本年度当初査定額	13,247						0	0

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・インクルーシブ教育推進に係る運営協議会を開催します。 ・先進地の教育委員会や教育センターなどの視察を行います。 ・言語教育について専門性が高い人材を学校支援コーディネーターとして雇用し、併せて児童がICTを活用した効果的な言語教育を行うことにより、ことばの発達に躓きのある児童の改善を図ります。 ・教員を対象とした研修や研究授業を行い、言語教育の内容及び方法の改善を図り、教員の専門性を高め、適切な指導へつなげます。</p>	<p>(事業の目的) ・地域で専門的な知識や技能をもつ人材を学校に活用したり、言語通級指導教室設置校がセンター的機能を果たし、理解啓発のための取り組みを行ったりすることで、ことばの発達に支援が必要な児童生徒のニーズを正しく理解し、合理的配慮に基づく、適切な支援が受けられるようにします。 ・関係機関が連携体制を築くことで、ことばの発達に特別な支援が必要な児童生徒が、手厚い支援を早期から継続的に受けられる市独自の体制</p>	<p>(事業の効果) ・市内で多くの教師が児童生徒の教育的ニーズを正しく理解し、適切な支援を行うことで、ことばの発達に支援が必要な児童生徒への教育的効果を高めます。 ・特別な支援が必要な幼児児童生徒を支える関係機関が連携し、一貫した教育が早期から展開されることにより、一人一人の確かな成長を支えます。 ・適切な人材及び教材を活用することで、ことばの発達における教育力</p>
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
07	7,542	0	7,542
08	391	0	391
09	21	0	21
11	659	0	659
12	1	0	1
13	2,016	0	2,016
14	2,354	0	2,354
18	263	0	263

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	14	03	03	01	01	00	インクルーシブ教育システム構築モデル事業委託	12,586	13,247	0	13,247
差引一般財源								△12,586	0	0	0